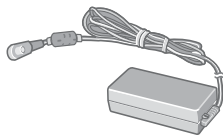
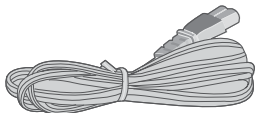
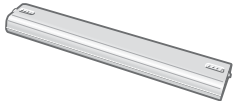
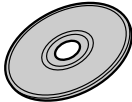
Panasonic®

パーソナルコンピューター
ご使用の前に

品番 CF-Y2シリーズ

- 本書では、『取扱説明書』および『操作マニュアル』に記載されていない内容、および異なる内容について説明しています。
- 『取扱説明書』および『操作マニュアル』をお読みになる前に、本書をよくお読みいただき、大切に保管してください。
- 無線LANモジュールを内蔵していないモデルをお使いの方は、『取扱説明書』および『操作マニュアル』に記載されている無線LAN機能をお使いいただくことはできません。また、無線LAN機能に関連する項目なども表示されません。（例：セットアップユーティリティの「詳細」メニューの[無線LAN]）

もくじ

取説 ：『取扱説明書』をご覧ください。
ページ番号 ：本書の該当ページをご覧ください。

付属品／別売り商品

付属品を確認する

下記のものがすべてそろっているか確認してください。
万一、足りない場合、または購入したものと異なる場合は、ご相談窓口にお確かめください。

印刷物など

- 取扱説明書
- Windowsファーストステップガイド
- 保証書（保証書は梱包箱に貼り付けられています。）
- ご愛用者登録カード兼保証期間延長依頼書
- ご使用の前に（本書）

別売り商品について

別売り商品の名称と品番は最新のカタログでご確認ください。
仕様改善のため、予告なく変更することがあります。

品　名	品　番
ACアダプター(電源コード付き)	CF-AA1625AJS （コンピューター本体の付属品と同等品です。）
バッテリーパック	CF-VZSU27AU （コンピューター本体の付属品と同等品です。）
RAMモジュール256 Mバイト	CF-BAU0256U
外部FDD(USB接続)	CF-VFDU03JS
DVD MULTIドライブ *1	LF-P567C / LF-M660JD
パソコン用スピーカー	RP-SPC300-S

*1 コンピューター本体にはDVD-ROM & CD-R/RWドライブが内蔵されています。
「再インストール」、「ハードディスクデータ消去ユーティリティ」および「ハードディスクバックアップユーティリティ」は、コンピューター本体に内蔵のDVD-ROM & CD-R/RWドライブ以外では行えません。

ハードディスク保護

本機には、ハードディスク保護の機能があり、セットアップユーティリティの「セキュリティ」メニューで設定できます。

セットアップユーティリティの「セキュリティ」メニュー

お知らせ

- セットアップユーティリティの「セキュリティ」メニューに「ハードディスク保護」が表示されています。
- 「ハードディスク保護」以外の項目については、『取扱説明書』または『操作マニュアル』の「セットアップユーティリティ」をご覧ください。

■設定項目

（アンダーラインは工場出荷時の設定）

項目	設定
ハードディスク保護 *1 ● ハードディスク保護を使用する／使用しないを設定します。	<u>無効</u> 有効

*1 スーパーバイザーパスワードが設定されているときのみ設定できます。また、ユーザーパスワードでセットアップユーティリティを起動したときは、表示されません。

「ハードディスク保護」を「有効」に設定すると

ハードディスクを別のコンピューターに取り付けた際に、ハードディスクのデータが読み書きできないようになります。ハードディスクを元のコンピューターに戻すと、以前と同じようにハードディスクに読み書きできます。ただし、この場合、セットアップユーティリティの設定をハードディスクが取り外される前と全く同じに設定しておいてください。
セキュリティのためには、「起動時のパスワード」を「有効」に設定しておくことをおすすめします。
（ハードディスク保護でデータを完全に保護できるという保証はありません。）

お知らせ

- ハードディスク保護の機能は、内蔵ハードディスクのみに働きます。外付けのハードディスクに、この機能は働きません。

「ハードディスク保護」を設定する（「有効」または「無効」にする）

1 セットアップユーティリティを起動する。
（☞ 『取扱説明書』または『操作マニュアル』「セットアップユーティリティ」）

2 ← → で「セキュリティ」を選ぶ。

3 ↑ ↓ で「ハードディスク保護」を選び、 Enter を押す。

4 [有効]または[無効]を選ぶ。
- ハードディスク保護を有効にするとき
  「有効」を選んで Enter を押す。
  「[重要]お知らせ」の画面が表示されたら Enter を押してください。
- ハードディスク保護を無効にするとき
  「無効」を選んで Enter を押す。

5 F10 を押し、「はい」を選んで Enter を押す。

お願い

- 本機の修理を依頼される場合
  「ハードディスク保護」が「無効」になっていることを確認してください。

操作の方法

プロジェクターとワイヤレス接続して使う場合

プロジェクターとワイヤレス接続して手もとの画面を投写する

パナソニック液晶プロジェクターTH-L735NTとワイヤレス接続して使う場合、プロジェクターに付属のCD-ROMを使わずに、ワイヤレス投写用アプリケーションソフトWireless Manager 3.0およびImage Creator 1.0Aをインストールすることができます。
各アプリケーションソフトの使い方については、下記の「オンラインマニュアルの見かた」をご覧ください。プロジェクターに付属のCD-ROMに収録されているオンラインマニュアルが、本機のハードディスクにインストールされています。

- **Wireless Manager 3.0**
  無線LANで、コンピューターから画面や画像ファイル（JPEG、PNG画像）をプロジェクターに送るために使用します。
- **Image Creator 1.0A**
  Microsoft® PowerPoint® のファイルを画像データに変換するために使用します。

■ インストールのしかた

お知らせ

- Windows上で起動しているすべてのアプリケーションソフトを終了してください。インストールできなくなる場合があります。
- すでにWireless Manager 2.0、Image Creator 1.0がインストールされているときは、インストールする前に削除してください。

1. コンピューターの管理者の権限でログオンする。
   ユーザーの簡易切り替え機能は使用しないでください。
2. [スタート] - [ファイル名を指定して実行]をクリックする。
   - **Wireless Manager 3.0**
     「c:\util\wlprjct\wirelessmanager\setup.exe」と入力して、[OK]をクリックする。
   - **Image Creator 1.0A**
     「c:\util\wlprjct\imagecreator\setup.exe」と入力して、[OK]をクリックする。

   以降、画面の指示に従ってください。

■ 起動のしかた

- **Wireless Manager 3.0**
  [スタート] - [すべてのプログラム] - [Wireless Manager] - [Wireless Manager 3.0]をクリックする。
  表示された画面から、使用したい機能を選択してください。
- **Image Creator 1.0A**
  [スタート] - [すべてのプログラム] - [Image Creator] - [Image Creator 1.0A]をクリックする。

■ オンラインマニュアルの見かた

1. [スタート] - [ファイル名を指定して実行]をクリックする。
2. 「c:\util\wlprjct\network_sd.pdf\jpn_network_sd.pdf」と入力して、[OK]をクリックする。
   あわせて「c:\util\wlprjct\hosoku.pdf」（補足説明）もご覧ください。

■ ご相談窓口

パナソニック液晶プロジェクターおよびWireless Manager、Image Creatorに関するお問い合わせは下記ご相談窓口をご利用ください。

プロジェクターお客様ご相談窓口	
受付時間	月～金曜日（祝祭日を除く）9:00 ～ 17:30
電話	(06)6906-2894

2004年1月1日現在

再インストールのしかた

再インストールについて、詳しくは『取扱説明書』「再インストールのしかた」をご覧ください。
ここでは、ハードディスクバックアップ機能を有効にしている場合の確認事項や操作について説明しています。

再インストールの前に

- **再インストールを実行すると、バックアップ領域は削除され、ハードディスクバックアップ機能が無効になり、バックアップしたデータは消去されます。（ただし、再インストールメニュー（☞『取扱説明書』「再インストールのしかた」手順*2*の③）で「3.最初のパーティションにWindowsを再インストールする。」を選んだ場合を除く。）**

再インストールする

- **再インストールの実行中に、ハードディスクバックアップ機能が無効になり、バックアップデータは消去されますというメッセージが表示された場合、(Y) を押してください。**
  続いて再起動を促すメッセージが表示された場合、(R) を押して再起動してください。

再インストールの後に

- **再インストールメニュー（☞『取扱説明書』「再インストールのしかた」手順*2*の③）で「3.最初のパーティションにWindowsを再インストールする。」を選んで再インストールすると、2番目のパーティション（データ用パーティション）のドライブ文字とSDメモリーカードのドライブ文字が入れ代わることがあります。入れ代わった状態でもそのままお使いいただけますが、以下の手順で出荷時のドライブ文字に戻すことができます。**
  （再インストール前に2番目のパーティション（データ用パーティション）をF:、SDメモリーカードのドライブをE:にしていた場合）

1 **2番目のパーティション（データ用パーティション）のドライブ文字を無効にする。**
 ① **[スタート]-[コントロールパネル]-[パフォーマンスとメンテナンス]-[管理ツール]をクリックして、[コンピュータの管理]をダブルクリックする。**
 ② **[記憶域]の[ディスクの管理]をクリックする。**
 ③ **「E:」と表示されている領域を右クリックして、[ドライブ文字とパスの変更]をクリックする。**
 ④ **[削除]をクリックする。**
 ⑤ **確認のメッセージで[はい]をクリックする。**

2 **SDメモリーカードのドライブ文字を「E:」に変更する。**
 SDドライブ変更ツールを使ってEドライブに変更してください。（☞『操作マニュアル』「SDメモリー／マルチメディアカード」）

3 **2番目のパーティション（データ用パーティション）のドライブ文字を「F:」に設定する。**
 ① **[スタート]-[コントロールパネル]-[パフォーマンスとメンテナンス]-[管理ツール]をクリックし、[コンピュータの管理]をダブルクリックする。**
 ② **[記憶域]の[ディスクの管理]をクリックする。**
 ③ **ドライブ文字が表示されていない領域を右クリックし、[ドライブ文字とパスの変更]をクリックする。**
 ④ **[追加]をクリックし、ドライブ文字を「F:」に割り当て、[OK]をクリックする。**

ハードディスクバックアップ機能

<40 Gバイト以上のハードディスクを搭載したモデルのみ>
ハードディスクバックアップ機能とは、ハードディスク上にバックアップ領域（保護領域）を作成して、ハードディスクの内容のバックアップ（保存）や、バックアップした内容のリストア（復元）を行う機能です。定期的にバックアップを行っておけば、操作ミスでデータを消してしまった場合などに、ハードディスクの内容を最後にバックアップを行ったときの状態に戻すことができます。
お買い上げ時、ハードディスクバックアップ機能は無効になっています。バックアップ領域を作成するとハードディスクバックアップ機能は有効になり、データをバックアップできるようになります。ただし、一度バックアップ機能を有効にした後、無効にするには、再インストールが必要です。

ハードディスクバックアップ機能は、データのバックアップ時やリストア時にハードディスクに問題があると、正常にバックアップ／リストアが行われません。また、予期せぬ誤動作／誤操作など、データのリストア中にエラーが発生した場合、ハードディスク内のお客様のデータ（リストア前のデータ）は失われますのでご注意ください。

本バックアップ機能の使用により生じたお客様の損害（データの消失を含む）については補償いたしかねます。

ハードディスクバックアップ機能を使用する前に

■ 準備する

- プロダクトリカバリーDVD-ROM

■ 以下の点を確認する

- 周辺機器およびSDメモリーカード／マルチメディアカードは、すべて取り外してください。特に、USBフロッピーディスクドライブやUSB接続のCDドライブを接続したままでは、バックアップ領域が正常に作成できない場合がありますので、必ず取り外してください。
- 必ず、ACアダプターを接続してください。
- パーティションを分割する場合は、バックアップ領域作成時に選択してください。（☞ 7ページ 手順⑦）
- ハードディスクを複数のパーティションに分割していると、バックアップ領域を作成することができません。工場出荷時の状態（1つのパーティション）に戻してから、バックアップ領域を作成してください。
- バックアップ領域作成後にパーティション構成の変更（作成やサイズ変更など）を行うと、バックアップすることができなくなります。変更する場合は、工場出荷時の状態に戻してから、再度バックアップ領域を作成してください。
- ハードディスクバックアップ機能は、内蔵ハードディスクにのみ有効です。外付けハードディスクには、バックアップ／リストアすることはできません。
- ハードディスクが損傷していると、バックアップ／リストアすることができません。
- NTFSファイルシステムの圧縮機能を使用しないでください。バックアップ領域の容量が足りなくなる場合があります。
- ハードディスクが故障した場合には、データなどが読み出せなくなりますので、あらかじめ、ハードディスク以外の場所（他のメディアや外付けのハードディスクなど）にも、データをバックアップしておいてください。
- 次の手順でディスクのエラーチェックを行ってください。
  ① Cドライブのプロパティを表示する。
  [スタート] - [マイコンピュータ]をクリックし、[ローカルディスク（C:)]を右クリックして、[プロパティ]をクリックする。
  ② [ツール] - [チェックする]をクリックする。
  ③ [チェックディスクのオプション]で、どの項目にもチェックマークを付けずに[開始]をクリックする。
  ディスクにエラーがあることを示すメッセージが表示された場合、再度[チェックディスクのオプション]を表示し、「ファイルシステムエラーを自動的に修復する」と「不良セクタをスキャンし、回復する」をクリックしてチェックマークを付け、[開始]をクリックして、ディスクのエラーチェックを行ってください。
- ハードディスクバックアップ機能はダイナミックディスクには対応しておりません。ダイナミックディスクへの変換は行わないでください。

お知らせ

- バックアップ領域について
  - ハードディスク全体の半分以上の空き容量が必要です。空き容量が足りないと、バックアップ領域を作成することができません。
  - バックアップ領域が作成されると、使用できるハードディスクの容量は半分以下になります。
  - バックアップ領域は、Windows上からはアクセスすることができません。このため、バックアップしたデータを、CD-Rなど外部のディスクにコピーすることはできません。
  - ハードディスクバックアップ機能では、バックアップ領域のデータを上書きします。バックアップした後に作成／編集したデータを、さらにバックアップすると、前回バックアップ領域に保存したデータは失われます。

バックアップ領域を作成する

お願い

- 手順⑩の「バックアップが終了しました。」というメッセージが表示されるまで、電源を切ったり、Ctrl + Alt + Del を押さないでください。Windows が起動しなくなったり、データが消失してバックアップ領域が作成できなくなったりするおそれがあります。

① コンピューターの電源を入れ、「Panasonic」起動画面が表示されている間に F2 を押し、セットアップユーティリティを起動する。
パスワードを設定している場合は、「パスワードを入力してください」と表示されますので、スーパーバイザーパスワードを入力して、Enter を押してください。（ユーザーパスワードでは「起動」メニューを変更できません。）

- 「メイン」メニューで、「CD/DVDドライブ電源」が［オン］に設定されていることを確認する。［オフ］に設定していた場合は、［オン］に設定してください。この場合でも手順③で「ディスクカバーが開かない場合」の操作が必要です。

②「起動」メニューで「CD/DVD ドライブ」を選び、F6 を押して「CD/DVD ドライブ」が 1 番目になるように設定する。

③ プロダクトリカバリー DVD-ROM を DVD-ROM & CD-R/RW ドライブにセットする。

- ディスクカバーが開かない場合：
手順④を行う。
↓
コンピューターの再起動後、すぐに手順①を行う。
↓
プロダクトリカバリーDVD-ROMをセットして、手順④から行う。

④ F10 を押す。
確認のメッセージが表示されたら、[はい]を選び、Enter を押してください。
セットアップユーティリティが終了し、コンピューターが再起動します。

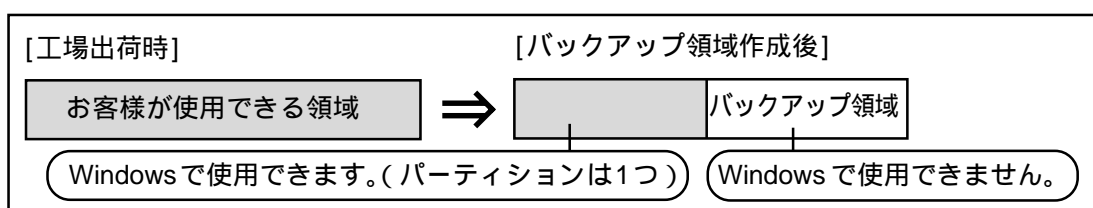
⑤ 3 を押して「3.【バックアップ】」を選ぶ。

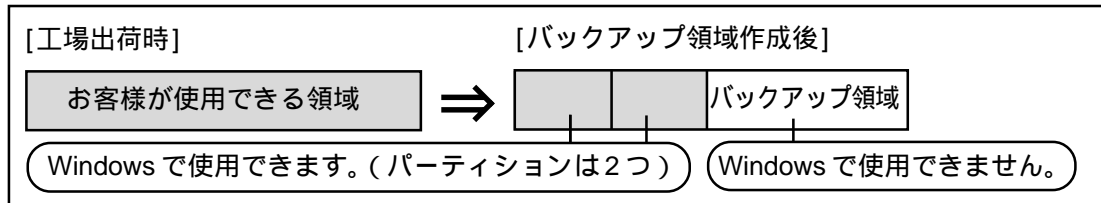
お知らせ

- 「1.【リカバリー】」を実行してパーティションを分割した後は、バックアップ機能を有効にすることができません。パーティションを分割する場合は、手順⑦を参照してください。

⑥ 確認画面で Y を押す。

⑦ メニューから、ハードディスクの分割方法を選ぶ。

- バックアップ領域を作成し、パーティションは分割しない場合
「1」を選んでください。

ハードディスクバックアップ機能

- バックアップ領域を作成し、さらにOS用とデータ用の2つのパーティションに分割する場合
  「2」を選び、OS用パーティションのサイズ(Gバイト単位)を数字で入力して、(Enter)を押してください。
  - 0（ゼロ）を入力すると、操作を中止することができます。
  - 設定できる最大のサイズから入力した数字を引いた値がデータ用パーティションのサイズになります。機種により、設定できる最大のサイズは異なります。

⑧ 確認のメッセージが表示されたら (Y) を押す。
バックアップ領域が作成されます。

⑨「バックアップ機能を有効にするためには再起動が必要です。」というメッセージが表示されたら、プロダクトリカバリー DVD-ROM を取り出し、何かキーを押して、コンピューターを再起動する。
引き続きバックアップが始まります。

⑩「バックアップが終了しました。」というメッセージが表示されたら、(Ctrl) + (Alt) + (Del) を押してコンピューターを再起動する。

⑪ 新しいデバイスがインストールされ、その設定を有効にするためにコンピューターを再起動する必要があることをお知らせするメッセージが表示されますので、[はい]をクリックして再起動する。

お知らせ

- セットアップユーティリティの「起動」メニューが、DVD-ROM & CD-R/RWドライブから起動する設定になっています。必要に応じて変更してください。
- 領域を作成すると、セットアップユーティリティの「終了」メニューに「ハードディスクバックアップ／リストア」が表示されます。次回、バックアップおよびリストアを実行するときは、このメニューを使用します。詳しくは「バックアップ／リストアする」（☞ 下記）をご覧ください。

バックアップ／リストアする

お願い

- バックアップを実行する前に、ディスクのエラーチェックを行ってください。（☞ 6ページ）
- 途中で電源を切ったり、(Ctrl) + (Alt) + (Del) を押すなどして、バックアップ／リストアを中止しないでください。Windows が起動しなくなったり、データが消失してバックアップ／リストアが実行できなくなったりするおそれがあります。

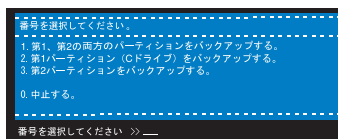
① コンピューターの電源を入れ、「Panasonic」起動画面が表示されている間に (F2) を押し、セットアップユーティリティを起動する。
パスワードを設定している場合は、「パスワードを入力してください」と表示されますので、スーパーバイザーパスワードまたはユーザーパスワードを入力して、(Enter) を押してください。

② (←) と (→) を使って「終了」メニューに移動し、(↑) と (↓) を使って一番下の「ハードディスクバックアップ／リストア」を選んで (Enter) を押す。
↓
確認のメッセージが表示されたら、[はい] を選び、(Enter) を押す。

③ **メニューから、実行する操作を選ぶ。**

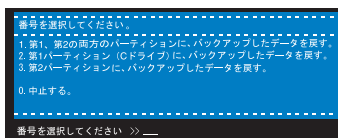
● **ハードディスクの内容をバックアップ領域にバックアップする場合**

*1

番号を選択してください。
1. 第1、第2の両方のパーティションをバックアップする。
2. 第1パーティション（Cドライブ）をバックアップする。
3. 第2パーティションをバックアップする。
0. 中止する。
番号を選択してください ≫ ＿

(1) を押して「1.【バックアップ】」を実行する。
（ハードディスクを2つのパーティションに分割している場合、続けて、画面(*1)が表示されます。バックアップの方法を選んでください。）

確認画面で (Y) を押す。
バックアップが始まります。

● **バックアップ領域に保存した内容をハードディスクに戻す場合**

*2

(2) を押して「2.【リストア】」を実行する。
（2つのパーティションでバックアップしている場合、続けて、画面(*2)が表示されます。リストアの方法を選んでください。）

確認画面で (Y) を押す。
リストアが始まります。

※ バックアップ（またはリストア）にかかる時間は、データ量によって異なります。

④ **「バックアップが終了しました。」または「リストアを終了しました。」というメッセージが表示されたら、(Ctrl) + (Alt) + (Del) を押してコンピューターを再起動する。**

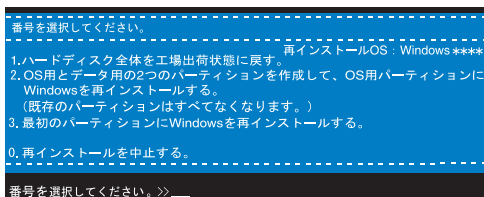
- **バックアップ／リストアの途中で電源が切れた場合などは、再度実行してください。**
- **新しいデバイスがインストールされ、その設定を有効にするためにコンピューターを再起動する必要があることをお知らせするメッセージが表示された場合は、[はい]をクリックして再起動してください。**

お願い

● **ハードディスクバックアップ機能を有効にしている状態では、お客様がアクセスできる領域内のすべてのデータを市販のデータ消去ユーティリティなどを使って消去しても、バックアップされたデータは消去されません。本機に搭載されているハードディスクデータ消去ユーティリティ（☞ 11ページおよび『取扱説明書』）を使うと、バックアップされたデータを含むハードディスク内のデータを消去することができます。本機を破棄または譲渡する場合は、ハードディスクデータ消去ユーティリティをご使用ください。**

● **バックアップの途中、まれに「#1805 イメージファイルが書けません」というエラーメッセージが表示され、バックアップが中断されることがあります。このエラーが発生した場合には、再度バックアップを実行してください。再度バックアップを実行し、バックアップが正しく終了すれば、ハードディスクに問題はありません。**

ハードディスクバックアップ機能を無効にするには

再インストールを行う必要があります。バックアップ領域およびハードディスク内のデータは消去されます。
「再インストールする」（☞『取扱説明書』「再インストールのしかた」）の手順2の②までを行い、再インストールを実行するための画面が表示された後、以下の画面が表示されますので、「1」または「2」を選んで再インストールしてください。

- **「1」を選ぶと、ハードディスクバックアップ機能を無効にすることができます。**
- **「2」を選ぶと、ハードディスクバックアップ機能を無効にすることはできますが、パーティションが分割されるため、再度ハードディスクバックアップ機能を有効にすることができません。**
- **「3」を選ぶと、ハードディスクバックアップ機能を無効にすることができません。**

コンピューターの廃棄・譲渡時におけるハードディスク内のデータ消去について

最近、コンピューターは、オフィスや家庭などで、いろいろな用途に使われるようになってきています。これらのコンピューターの中にあるハードディスクという記憶装置に、お客様の重要なデータが記録されています。

したがって、そのコンピューターを廃棄または譲渡するときには、これらの重要なデータを消去することが必要です。

ところが、このハードディスク内に記録されたデータを消去するというのは、それほど簡単ではありません。
「データを消去する」という場合、一般には次のような操作を行います。

・データを「ごみ箱」に捨てる
・「ごみ箱を空にする」機能を使ってデータを消す
・「削除」操作を行う
・ソフトウェアで初期化（フォーマット）する
・再インストールをして、工場出荷状態に戻す

しかし、これらの操作を行っても、ハードディスク内に記録されたファイルの管理情報が変更されてデータを呼び出す処理ができなくなるだけで、本来のデータは残っているという状態にあります。

したがいまして、特殊なデータ回復のためのソフトウェアを利用すれば、これらのデータを読み取ることが可能な場合があります。このため、悪意のある人によって、このコンピューターのハードディスク内の重要なデータが読み取られ、予期しない用途に利用されるおそれがあります。

お客様がコンピューターを廃棄・譲渡等を行う際に、ハードディスク内の重要なデータが流出するというトラブルを回避するためには、ハードディスクに記録されたすべてのデータを、お客様の責任において消去することが非常に重要です。消去するためには、専用ソフトウェアあるいはサービス(ともに有償)を利用するか、ハードディスク内のデータを金槌や強い磁気によって物理的・磁気的に破壊して、読めなくすることを推奨します。

データ消去のための専用ソフトウェア・サービスについて：
本機には、ハードディスク内のデータを消去するハードディスクデータ消去ユーティリティが搭載されています。ハードディスクデータ消去ユーティリティは、データを上書きする方法でデータを消去していますが、予期せぬ誤動作あるいは誤操作により完全に消去できない場合があります。また、特殊な機器により読み出される可能性もあります。
ハードディスクデータ消去ユーティリティについて詳しくは、『取扱説明書』をご覧ください。

その他、データの消去に関しては、下記の情報窓口をご利用ください。
＊パナソニックPCのホームページ（http://panasonic.biz/pc/recycle/）
＊パナソニックパソコンお客様ご相談センター（フリーダイヤル 0120-873029（パナソニック））
＊リース、レンタル会社への返却については、リース、レンタル会社の問い合わせ窓口

また、ハードディスク内にお客様がインストールした市販のソフトウェアを削除せずに本機を譲渡すると、そのソフトウェアのライセンス使用許諾契約に抵触する場合がありますので、ご注意ください。

ハードディスクの内容をすべて消去する

ハードディスクデータ消去について、詳しくは『取扱説明書』「ハードディスクの内容をすべて消去する」をご覧ください。
ここでは、ハードディスクバックアップ機能を有効にしている場合の確認事項や操作について説明しています。

データ消去の前に

- お客様がアクセスできる領域内のすべてのデータと、ハードディスクバックアップ機能を有効にしている状態のバックアップデータが消去されます。

データをすべて消去する

- ハードディスクデータ消去の実行中に、ハードディスクバックアップ機能が無効になり、バックアップデータは消去されますというメッセージが表示された場合、Y を押してください。
続いて再起動を促すメッセージが表示された場合、R を押して再起動してください。

仕様 日本国内専用

本製品（付属品を含む）は日本国内仕様であり、海外の規格などには準拠しておりません。

● 本体仕様

機種名			CF-Y2CW4AXS	CF-Y2CW2AXS	CF-Y2CC2AXS
CPU			低電圧版 インテル®Pentium® M プロセッサ1.2GHz	超低電圧版 インテル® Pentium® M プロセッサ1GHz	
	キャッシュ		オンダイL2キャッシュ-1 Mバイト*1		
搭載メモリー（拡張可能メモリー）			256 Mバイト*1（最大512 Mバイト*1）、DDR SDRAM*2		
ビデオメモリー			最大64 Mバイト*1*3（メインメモリーと共用）		
LCD	タイプ		14.1型TFTカラー液晶（SXGA+）	14.1型TFTカラー液晶（XGA）	
	解像度 （表示色数）		1400 × 1050/1280 × 1024/1024 × 768/800 × 600ドット（いずれの解像度でも65536色/1677万色）*4	1024 × 768/800 × 600 ドット（いずれの解像度でも65536色/1677万色）*4	
外部ディスプレイ			1600 × 1200/1400 × 1050/1280 × 1024/1024 × 768/800 × 600ドット（いずれの解像度でも65536色/1677万色）*5		
ハードディスクドライブ			約40 Gバイト*6		
DVD-ROM & CD-R/RWドライブ			バッファアンダーランエラー防止機能（SmoothLink™）搭載		
	使用可能ディスク		DVD-ROM（1層、2層）、DVD-R*7（3.95 Gバイト、 4.7 Gバイト）*6、DVD-RW*7（4.7 Gバイト、9.4 Gバイト）*6、DVD-RAM*7*8（2.6 Gバイト、5.2 Gバイト、4.7 Gバイト、9.4 Gバイト）*6、CD-Audio、CD-ROM、CD-R、Photo CD、Video CD、CD-EXTRA、 CD-RW、CD-TEXT		
	転送速度	DVD-ROM読み込み *9	最大8倍速		
		CD-ROM読み込み *9	最大24倍速		
		CD-R書き込み *10	4倍速、8倍速、8〜16倍速、8〜24倍速		
		CD-RW書き換え	4倍速		
		High-Speed CD-RW書き換え	4倍速、8倍速、10倍速		
		Ultra-Speed CD-RW書き換え *11	8倍速、10倍速、8〜16倍速		
キーボード			OADG準拠、Windowsキーボード（86キー）		
スロット	PC カードスロット		Type Ⅰ(Type Ⅱ) × 1スロット 許容電流 3.3 V：400 mA、5 V：400 mA		
	増設RAMスロット		1スロット（172ピン、マイクロ DIMM、2.5 V、DDR SDRAM、PC2700*2*12）		
	SD メモリーカードスロット		SDメモリーカード／マルチメディアカード		
インターフェース	外部ディスプレイコネクター		アナログRGB ミニD-sub15ピン		
	マイク入力端子		モノラルミニジャックM3（コンデンサーマイクを使用のこと）		
	オーディオ出力端子		ステレオミニジャックM3		
	USB コネクター		Universal Serial Bus 2.0準拠 4 ピン × 2		
	モデムコネクター		RJ-11 DATA：56 kbps（V.90）FAX：14.4 kbps		
	LAN コネクター		RJ-45 100BASE-TX/10BASE-T		
	無線LAN モジュール		内蔵（☞ 14ページ）		——
ポインティングデバイス			ホイールパッド		

*1 1 Mバイト=1,048,576バイト
*2 最大266 MHz（PC2100相当）/最大333 MHz（PC2700相当）の2モードがあり、セットアップユーティリティの[メモリー/ビデオ省電力]で切り替え可能。
工場出荷時は[バッテリー優先]（266 MHz（PC2100相当））に設定されており、[パフォーマンス優先]に変更すると333 MHz（PC2700相当）になります。
*3 コンピューターの動作状況により、メインメモリーの一部が自動的に割り当てられます。サイズを設定しておくことはできません。
*4 ディザリング機能を使用して約1677万色表示を実現しています。
*5 外部ディスプレイの仕様により異なります。
*6 1 Gバイト=1,000,000,000バイト。OSまたは一部のアプリケーションソフトでは、これよりも小さな数値でGバイト表示される場合があります。
*7 読み込みのみ。
*8 DVD-RAM は、カートリッジなしのディスクまたはカートリッジから取り出せるディスクのみ使用できます。
*9 偏重心のディスク（重心が中央にないディスク）を使用すると、振動が大きくなり速度が遅くなることがあります。
*10 使用するディスクによって、書き込み速度が遅くなることがあります。
*11 24 倍速書き換えには対応していません。
*12 RAMモジュールを増設する際、PC2700対応であることをご確認ください。

● 本体仕様

機種名		CF-Y2CW4AXS	CF-Y2CW2AXS	CF-Y2CC2AXS
サウンド機能		PCM音源（16ビットステレオ）、ステレオスピーカー		
消費電力 *1		最大 約40 W、（社)電子情報技術産業協会 家電・汎用品高調波抑制対策ガイドライン実行計画書に基づく定格入力電力値：24 W		
バッテリー	駆動時間	約7.5時間*2	約8時間*2	
	充電時間	約5.5時間*3		
外形寸法（幅 × 高さ × 奥行き）		309 mm × 33 mm(前部)/46 mm(後部) × 243 mm （突起部を除く）		
質量		約1499 g*4	約1650 g*4	
使用環境条件		温度：5 °C ~ 35 °C 湿度：30 %RH ~ 80 %RH（結露なきこと）		

*1 電源が切れていてバッテリーが満充電や充電していないときは約1.5 W。
*2 JEITAバッテリー動作時間測定法（Ver.1.0）による駆動時間。セットアップユーティリティの［メモリー/ビデオ省電力］を［バッテリー優先］（RAM 266 MHz（PC2100相当））に設定時（工場出荷時の状態）の測定値。バッテリー駆動時間は、動作環境／システム設定により変動します。
*3 バッテリー充電時間は動作環境／システム設定により変動します。完全放電したバッテリーを充電すると時間がかかる場合があります。
*4 平均値。各製品で質量が異なる場合があります。

● 付属品仕様

AC アダプター	入力	AC 100 V ～ 240 V*5、50 Hz/60 Hz
	出力	DC 16 V、2.5 A
	電源コード	125 V 対応
バッテリーパック	仕様	7.4 V(Li-ion)、7.05 Ah

*5 本製品は一般家庭用の電源コードを使用するため、AC100 Vのコンセントに接続して使用してください。(☞『取扱説明書』「安全上のご注意」)

● 導入済みソフトウェア

OS	Microsoft® Windows® XP Professional with Service Pack 1a（NTFSファイルシステム） Microsoft® Windows® Media Player 9.0 Direct X 9.0b Microsoft® Windows® Movie Maker 2.0
ソフトウェア名	DMIビューアー ネットセレクター SDユーティリティ ホイールパッドユーティリティ 無線LAN切り替えユーティリティ（CF-Y2CW4AXS/CF-Y2CW2AXSのみ） Hotkey設定 Adobe® Acrobat® Reader PC情報ビューアー オプティカルディスクドライブ省電力ユーティリティ フォントサイズ拡大ユーティリティ WinDVD™ 5(OEM版) B’s Recorder GOLD7 BASIC B’s CLiP 5 Wireless Manager 3.0*6 Image Creator 1.0A*6
	セットアップユーティリティ ハードディスクデータ消去ユーティリティ*7 ハードディスクバックアップユーティリティ*7

*6 ワイヤレス投写用アプリケーションソフト（パナソニック液晶プロジェクターTH-L735NTとワイヤレス接続するときに使います。（☞4ページ）
*7 プロダクトリカバリーDVD-ROMが必要です。

仕様 日本国内専用

● 無線 LAN モジュール

データ転送速度	IEEE802.11g : 54 Mbps/48 Mbps/36 Mbps/24 Mbps/18 Mbps/12 Mbps/9 Mbps/6 Mbps (自動切替)*[1] IEEE802.11b : 11 Mbps/5.5 Mbps/2 Mbps/1 Mbps (自動切替)*[1]
準拠規格	ARIB STD-T66 (小電力データ通信システム規格)
	IEEE802.11g/IEEE802.11b (無線 LAN 標準プロトコル)
伝送方式	OFDM 方式、DS-SS 方式
伝送距離	見通し約 50 m (アクセスポイントとの通信時)*[2]
使用無線チャンネル	1 〜 11 チャンネル
RF 周波数帯域	2.4 GHz 帯全域 (2.4 GHz 〜 2.4835 GHz)

*[1] IEEE802.11b/g 規格による速度であり、実効速度とは異なります。
*[2] 通信距離は、電波環境、障害物、設置環境などの周囲条件や、アプリケーションソフトウェア、OS などの使用条件によって異なります。

保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は…

- 修理は、「サポートデスク」へ!
- その他のお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ!

■ 保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間 [消耗品（バッテリーパック）を除く]

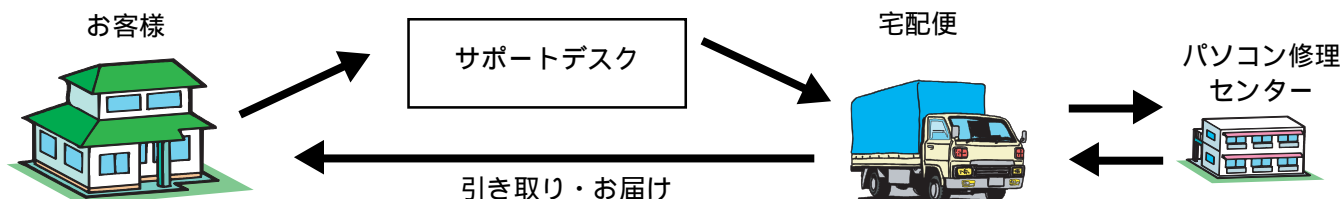
■ 補修用性能部品の保有期間

当社は、このパーソナルコンピューターの補修用性能部品を、製造打ち切り後6年保有しています。
注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 海外での使用について

本製品は日本国内仕様であり、海外の規格などには準拠しておりません。海外での使用について、当社では一切責任を負いかねます。
また、当社では本製品に関する海外でのアフターサービスおよび消耗品、別売品の供給は行っておりません。
This product cannot be used in foreign country as designed for Japan only.

修理を依頼されるとき

「困ったときのQ&A」（☞『取扱説明書』および『操作マニュアル』）に従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、サポートデスクへご連絡ください。
修理時に、当社指定の宅配業者が専用梱包箱を持ってパソコン修理品の引き取りにお伺いし、修理が完了した後、直ちに宅配業者がお届けする、早くて便利な修理サービスを実施しております。

- **保証期間中は**
  保証書の規定に従って修理をさせていただきますので、恐れ入りますが、製品と保証書をご準備いただき、サポートデスクにご相談ください。また、引き取り修理の送料は当社が負担させていただきます。
- **保証期間を過ぎているときは**
  修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。また、引き取り修理の送料はお客様のご負担となります。

- **修理料金の仕組み**
  修理料金は、技術料・部品代・送料などで構成されています。
  - 技術料 は、診断・故障個所の修理および部品の交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
  - 部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。
  - 送料 は、お客様のご依頼により修理品を引き取り、またはお届けする場合の費用です。

修理に関するご相談

サポートデスク

電　話 フリーダイヤル 0120-05-8729

受付時間　祝祭日および年末年始（12/30〜1/4）を除く月曜日から金曜日
9時〜17時30分

商品についてのお問い合わせは

パナソニックパソコンお客様ご相談センター

電　話 フリーダイヤル 0120-873029（パナソニック）

ＦＡＸ　(06)6905-5079

365日／受付9時〜20時
（パソコン製品の使い方や技術的なご質問も承っております。）

2004年1月1日現在